

諮 問 映 画

映 画 名	アメリと雨の物語
制 作 者 等	マイリス・ヴァラード、リアン＝チャー・ハン
内 容	<p>本作品は、1960年代の日本を舞台に、少女アメリが初めての喜びや喪失感を経験しながら成長する過程を描いたアニメーション作品である。</p> <p>「精霊送り」などの日本の文化や戦争の歴史、ベルギーの外交官やフランス語の会話などが描かれており、青少年が知識を身に着け、教養を深めるきっかけとなる。</p> <p>アメリの愛する祖母の死やアメリと家政婦ニシオさんとの心温まる友情など、家族や愛する者たちとの絆や生きていくことの喜びが随所に表現されており、青少年の心を慈しみ大切にすることを育てるものである。</p>
推 奨	<p>昭和の日本の自然の風景、日本家屋や庭園の景色が描かれており、また、家族で海水浴に行きバカンスを楽しむシーンや「端午の節句」の鯉のぼり、池の鯉に驚くシーンなど想像力あふれるアメリの視点を通して色彩豊かに描かれており、美しいものに対する感性を磨き、育てるものである。</p>
理 由	<p>日本に駐在する外国人の家族と日本人の心の葛藤や、戦争の歴史や文化、国籍など多様な背景を持つ他者を受け入れる姿、また、アメリがベルギー人なのか日本人なのか葛藤する様子が描かれており、青少年の思考力や批判力、観察力を養うものである。</p> <p>独創的な世界観や想像力を持ったアメリの個性を尊重し、子どもたちの自由で豊かな想像力や感性を育むことの重要性を伝えるものであり、青少年の健全な心身の成長に資するものである。</p>
(案)	<p>本作品は、条例施行規則第2条の優良図書類等の推奨の基準</p> <p>第二号 青少年が知識を身につけ、教養を深めていくことに役立つものであること。</p> <p>第三号 青少年の心を慈しみ、大切にすることを育てるものであること。</p> <p>第四号 青少年の美しいものに対する感性を磨き、育てるものであること。</p> <p>第五号 青少年の思考力、批判力又は観察力を養うものであること。</p> <p>第六号 前各号に掲げるもののほか、青少年の健全な心身の成長に資するものであること。</p> <p>に該当し、青少年（主として小学生以上）を健全に育成する上で有益であると認め、小学生以上を対象に推奨を行う。</p>

諮 問 映 画

映 画 名	私たちの話し方
制 作 者 等	ホン・ホー、ジャクリーン・リュー、アダム・ウォン
内 容 ・ 推 奨 理 由 (案)	<p>本作品は、3人の聴覚障害を持つ主人公の若者が聴こえ方の度合いと向き合いながら、自分の人生を自身の力で切り拓いていく物語である。</p> <p>異なる価値観を持つ者同士が互いに理解し合う過程が丁寧に描写されており、家庭環境の違いから生じる葛藤を乗り越えお互いに様々な悩みがあることを知ることは、青少年の良識や倫理観を育むことにつながる。</p> <p>手話と人工内耳装着によるコミュニケーションの違いを学ぶことができ、ろう者同士や聴者とのコミュニケーションのあり方を学ぶことにつながり、青少年が知識を身に付け、教養を深めることができる。</p> <p>ろう学校の幼馴染である主人公の少年2人が、対話していく中でお互いを受け入れ、尊重し、生き方を模索する姿は、人を思いやる気持ちや大切にすることを育てるものである。</p> <p>豊かな手話の表現に魅了された主人公の女性が手話を学び始める描写や、それぞれの考えを主張し意見を交わす3人の若者の描写から、物事を一面的に捉えず多方面から考え、人生には様々な選択肢があるという思考力などを身に付けることができる。</p> <p>本作品は、条例施行規則第2条の優良図書類等の推奨の基準 第一号 青少年の社会に対する良識と倫理観を育てるものであること。 第二号 青少年が知識を身につけ、教養を深めていくことに役立つものであること。 第三号 青少年の人を慈しみ、大切にすることを育てるものであること。 第五号 青少年の思考力、批判力又は観察力を養うものであること。</p> <p>に該当し、青少年（主として小学4年生以上）を健全に育成する上で有益であると認め、小学4年生以上を対象に推奨を行う。</p>